

第1回 浜田市障がい者差別解消推進委員会 会議録

○開催日時：令和3年5月12日（水）13：30～15：20

○場 所：浜田市役所本庁4階講堂A・B

○出席者：(委員)

西田委員、今城委員、榎本委員、林委員、金高委員、古和委員

田村委員、川上委員、櫛原委員

小田委員（代理出席：浜田市手をつなぐ育成会 佐々木氏）

以上 10人

(市)

猪木迫健康福祉部長、藤井地域福祉課長、柳原障がい福祉係長、太田主任主事

○傍聴者：1人

○会議次第

1. 開会

2. あいさつ（健康福祉部長）

3. 委員長あいさつ（西田委員長）

4. 委員紹介

5. 報告事項

(1) 昨年度の取組

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講演会、街頭等啓発活動等全て中止

6. 協議事項

(1) 浜田市障がい者差別解消推進委員の役割について

(2) 今年度の取組予定について

①浜田市健康福祉フェスティバルについて

②年間スケジュールについて

③障がい者差別解消推進講演会について

④障がい者雇用優良事業所顕彰事業について

⑤街頭啓発活動について

⑥職員向け研修会について

⑦その他活動等について

7. その他

1. 開会
2. あいさつ（健康福祉部長）
3. 委員長あいさつ（西田委員長）
4. 委員紹介

委員の変更について紹介。浜田人権擁護委員協議会村井委員から金高委員に変更。
浜田公共職業安定所板倉委員から川上委員に変更。

5. 報告事項

- (1) 昨年度の取組

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、非常に残念ではあるが、講演会、街頭等啓発活動等全て中止した。

6. 協議事項

- (1) 浜田市障がい者差別解消推進委員の役割について

資料に基づき役割及び現在までの実施状況等を説明。

障がい者差別に関する相談等については、昨年度は盲導犬を連れての入店拒否に関する相談事案があった。実際は江津市の飲食店であり、市へのあっせんも望まれなかったため、江津市担当部署と連携し、当該飲食店へ赴き、差別解消への理解を促し、従業員への周知徹底を確認した。

障がい者差別解消の取組への表彰については、現在基準を設けていないため、今後審査基準の素案等を検討していきたい。

障がい者差別解消の取組等については、今後は町単位、コミュニティ単位で取組を行うことを想定しているが、現在は市での大きなイベント等を活用して取組を行っている。

【質問・意見等】

- ・本委員会とも関係があるため、浜田圏域自立支援協議会の中にある権利擁護部会の虐待防止のフロー図を次回会議に参考資料として載せてほしい。
- ・表彰については、当面、障がい者雇用優良事業所表彰を対象として実施してはどうか。
- ・表彰については、前向きに検討したほうが良いと思うため、他市等に事例があれば、それを参考にしながら表彰の素案を作成した方が良いのではないかと。次回は資料があるとよい。
- ・浜田市民憲章表彰でも障がい者関係サークルが表彰されているため、選考基準がわかるものを次回用意していただきたい。
- ・差別解消と虐待防止について軸としては違うが連動している。つながりをどのように保つか重要だと思うが、よく見えていない部分がある。以前、雇用に関する虐待通報を行ったが、最終的には本人含め家族が負担を感じ、介入等を望まなくなったためそこで終わった。差別解消という視点でいけば、もう少し事業所へ対応できることがあったのではないかと思えたので、虐待事案があった場合は、差別解消とも連携できるとよい。

- ・差別も虐待も根本は人権であるため、虐待に関する情報も共有できるとよい。

【事務局からの回答】

- ・表彰については、他市の状況等を調べて、次回委員会で事例の紹介をさせていただく。市民憲章表彰の選考基準についても資料を準備する。
- ・差別については、本人からのあっせん申立となるが、虐待の場合は、本人の申出よりも周囲から相談や通報が入るケースが多いため、本人からの申立てがない限り虐待と同時に差別解消についても対応するということにはなりにくい。確かに連動する部分もあるため、情報共有が可能か、可能であればどのように共有するか課題ではあるかと思う。

(2) 今年度の取組予定について（資料2）

①浜田市健康福祉フェスティバルについて

資料に基づき説明。

令和3年度は健康福祉フェスティバルにおいて、障がい関連の講演会、表彰などのイベントを実施することをフェスティバルの実行委員会で承認された。

改めて、障がい者差別解消推進講演会及び障がい者雇用優良事業所顕彰事業について健康福祉フェスティバル内で実施することについて承認されるか。

⇒ 【承認】

②年間スケジュールについて

資料に基づき説明。

③障がい者差別解消推進講演会について

資料に基づき説明。

例年参加者が少ないため、今回事務局案として、視覚障がいをお持ちの音楽家である前川裕美氏を招いてコンサート形式の講演会を提案。

⇒ 【承認】

④障がい者雇用優良事業所顕彰事業について

資料に基づき説明。

当委員会で顕彰事業を行うことに対して承認されるか。

⇒ 【承認】

⑤街頭啓発活動について

資料に基づき説明。

⑥職員向け研修会について

資料に基づき説明。

⑦その他活動等について

【質問・意見等】

③について

- ・講演時間は決まっているのか、調整は可能か。
- ・コンサート形式なら多くの方に来ていただきやすいと思うが予算はどうか。
- ・会場のキャパシティや新型コロナの影響もあり、人数制限があり 50 席となっているが多くの人に聴いてもらうために、会場レイアウトについてフェスティバルの実行委員会で調整できないか。
- ・参加人数が制限されているため、事前申込制の方が良いのではないか。
- ・たくさんの方に見てもらおうという点で、配信も行うというのはどうか。
- ・フェスティバルが延期になった場合は、再調整する場合は、講師日程とすり合わせができるか。
- ・ステージが可動式だが、ピアノ等置くことができるのか。

⑤について

- ・チラシだけでは受け取ってくれないと思うので、ティッシュなど実用的なものもつけて啓発活動するとよいのではないか。

【事務局からの回答】

- ・1 時間程度と伺った。調整できるか確認する。
- ・健康福祉フェスティバルが延期の場合は、1 月～3 月の中で実施を予定している。
- ・ピアノの設置については、会場であるいわみーるとも調整を行う。どうしてもピアノを準備できない場合は、講師側で演奏機材を準備できると確認している。
- ・街頭啓発活動については、予算の範囲内で検討を行う。

7. その他

【意見・質問等】

- ・事業所に積極的にあいサポート研修を受けてもらい、バッジをつけてほしい。県外に行くと興味を持ってもらえる。
- ・浜田市ではあっせん事例がないとのことだが、島根県内の件数についてどうなっているのか。件数がないということは、事業所の理解度進んでいるからなのかそうではないのか実態はどうなっているのか。
- ・浜田市の職員だけでなく、事業所にもあいサポーター研修を広げていき、障がい者への理解促進につなげることが大切だと考える。
- ・最近、思いやり駐車場などの優先駐車場について、大きい車やトラックが停めているケースがみられる。
- ・近年、障がい者雇用率は上がったが、同時に離職率も上がっている。つまり、定着率は横ばいである。
- ・障がい者の離職の要因は、やはり障がい特性などの理解や配慮が足りないことが多い。
- ・人権擁護委員協議会では、今までは一般の人へ啓発活動を行っていたが、近年徐々に職場へ人権について啓発活動を行っている。また、学校教育現場にも人権啓発活

動を行っている。

- ・就労支援をする中で事業所側は言えどもっとできる、伸びるだろうという視点であるが、支援側は現状を維持することが大切であるという視点のため、そのズレを埋めていく必要がある。

- ・事件があった際、新聞報道で精神障がい者であることが報道されている実態がある。なぜ、障がい者であることを報道される必要があるのか。精神障がい者は怖いという勝手なイメージを植え付けかねない。新聞社によっては報道しないところもある。そういうところにこそ配慮が必要と感じる。その都度声を上げていく必要がある。

【事務局からの回答】

- ・島根県内の件数については把握していない。
- ・あいサポート研修は社会福祉協議会だけではなく、登録講師も浜田市内には多くいるため、是非とも活用してほしい。